

引 得

特刊之十三

一百七十五種日本期刊中東方學論文

篇目附引得

于式玉 劉選民編

引得編纂處校訂

哈佛燕京學社

一九四〇, 二月

登記證警字第一三一, 二號

引 得 編 纂 處

洪 業

聶 崇 岐

李 書 春

趙 豐 田

馬 錫 用

引 得 編 纂 處

燕 京 大 學 圖 書 館

北 平, 海 淀

引 得 校 印 所 印

目 錄

序.....	i
叙例.....	iii
本編所收日本期刊表 I (依中國字度攝法排).....	v
本編所收日本期刊表 II (依日本讀法音譯排).....	xix
筆畫檢字.....	xxxiii
拼音檢字.....	xxxvii
中國字度攝.....	xliii
第一篇 分類篇目	
一 總論.....	1
二 羣經	
1 通論.....	5
2 石經.....	5
3 易.....	5
4 書.....	6
5 詩.....	6
6 禮.....	7
7 春秋.....	7
8 孝經.....	8
9 四書.....	8
10 其他.....	9
三 語言文字學	
1 通論.....	9
2 方言.....	12
3 聲韻.....	13

目 錄

4	文字	14
5	訓詁	15
6	形義	16
四 攷古學		
1	通論	17
2	發掘	19
3	金石	
a	通論	21
b	銅器	21
c	玉器	23
d	土器	23
e	石刻	24
4	雜考	25
五 歷史學		
1	通論	26
2	史學	26
3	通史	27
4	政治法制史	31
5	中外交通史	35
6	經濟史	36
7	社會史	39
8	農業史	41
9	民族史	43
10	歷史地理	44
11	傳記年譜	47
12	史料典籍	50

目 錄

13	雜考	53
14	其他	57
15	附日本資料	58
六 地理學		
1	通論	66
2	地文	67
3	旅行遊記	68
4	圖籍方誌	70
5	地方研究	71
6	交通	72
七	諸子與哲學	74
八 文學		
1	通論	79
2	詩文	82
3	小說戲曲	84
4	作家	86
5	雜論	87
九	科學	88
十 政治學		
1	通論	90
2	政府	91
3	法律	94
4	治外法權	95
5	國際關係	97
6	雜論	104
十一 經濟學		

目 錄

1	通論	105
2	財政	109
3	貿易	115
4	實業	119
5	農業	124
6	其他	124
十二	社會學	
1	通論	125
2	家族	126
3	人口	128
4	階級	128
5	民族	128
6	移民	131
7	風俗	132
8	崇信	136
9	其他	138
十三	人類學	139
十四	教育學	140
十五	宗教	
1	通論	142
2	佛教	
a.	通論	144
b	論說	148
c	典籍	152
d	諸派	157
e	大師	189

目 錄

f	寺院古蹟	163
g	雜論	164
3	儒教	165
4	耶教	169
5	道教	171
6	回教	171
7	其他	173
十六	音樂	174
十七	藝術	
1	通論	177
2	繪畫	178
a	佛教畫	180
b	山水畫	181
c	人物畫	182
d	禽獸畫	182
e	壁畫	182
f	其他	183
3	建築	183
4	雕刻	184
5	書法	187
6	雜類	188
十八	圖書目錄學	
1	圖書館學	191
2	目錄	192
3	版刻	195
4	校勘	196

目 錄

5 序跋.....	197
6 雜類.....	197
第二篇 篇目引得	
I (中體).....	1
II (國體).....	26
III(字體).....	36
VI(皮體).....	74
V (摺體).....	81
篇目以日文居首.....	127
篇目以西文居首.....	131
第三篇 著者引得	
I (中體).....	1
II (國體).....	35
III(字體).....	47
VI(皮體).....	76
V (摺體).....	82
第四篇 著者音譯引得.....	1

篇 目 引 得

I

00 010—10 100

00 010 心ノ分極作用ニ就イテ 黒石亮 77
 心ノ字ニ關スル熟語 秦英二郎 16
 00 600 永山二水先生筆蹟ニ就キテ
 中島吉郎 188
 永樂大典本宋吏部條法ニツイテ
 牧野巽 52
 永樂大典本宋會要稿本二種
 仁井田陞 196
 永明聲韻說 陳蔡煉昌 13
 永代借地問題ノ解決 信夫淳平 124
 永代借地制度ノ廢止 横田喜三郎 94
 永代借地權ノ撤廢ニ就イテ
 杉原荒太 94
 永代借地權撤廢ノ法律の意義
 佐々穆 94
 10 000 一乘院・大乘院ノ爭訟 佛教史林 164
 一木造ノ限界 丸尾彰三郎 186
 一九三三年ニ於ケル東亞考古學
 ノ展望 三上次男 17
 一九三三年支那貿易ノ檢討
 横竹平太郎 116
 一九三七年ノ滿洲國 中保典作 92
 一九三七年度ノ支那貿易
 太田秀雄 116
 一九三五ニ於ケル日滿支經濟關
 係ノ考察 井村薰雄 108
 一九三五年ニ於ケル日滿支外交
 關係 米田實 99
 一九三五年ニ於ル日滿支教育
 關係ノ展望 椎木眞一 142
 一九三五年ニ於ケル日滿支財政
 金融ニ就イテ 金子繁太郎 113
 一九三五年ニ於ケル日滿支內政
 外交展望 中保典作 99
 一九三五年ニ於ケル日滿露支那
 蒙國境問題 田中香苗 99

一九三五年定期刊行物東洋史研
 究歐文獻目錄 増村宏 3
 一九三四年上半期支那經濟概觀
 東亞 106
 一九三四年支那商工業ノ趨勢
 何炳賢 106
 一九三四年度支那經濟概觀一中
 國銀行營業報告一 東亞 106
 一九三六年ノ佛教印度支那概觀
 東亞 148
 一九三六年度ニ於ケル馬來亞ノ
 經濟姿態 東亞 109
 一丘筆人物像ニ就テ 黒田源次 182
 一八八二年至一八九一年ニ於ケ
 ル牛莊海關報告 ゲー・エフ・モン
 トゴメリ著 絲山貞家譯 114, 117
 一條兼良ノ佛教說 藍山閑樵 150
 一條鞭法 梁方仲著 鈴木正譯 39
 10 100 二ノ歐文滿洲文獻 衛藤利夫 3
 二十五年度民國佛教界ノ回顧
 法舫 146
 二十四孝小解 熊澤蕃山 168
 二王墨迹見傳考 容庚著 滕乙譯
 188
 二葉亭四迷研究 千葉龜雄等 87
 二程子ノ實踐哲學 後藤俊瑞 79
 二程子及ビ朱子ノ新哲學
 高須芳次郎 79
 二劉ノ錄略ニ就イテ 川又武 53
 10 100 三ツノ「圓」一支那ヲ中心トシテ
 觀タ日滿支貨幣トゾレ等ノ關
 係一 太田英一 111
 三十部女眞ニ就イテ 小川裕人 44
 三十帖策子ノ原本ト其ノ目錄
 中田法壽 195
 三井家ノ山雪襖畫ニ就テ 拙庵 182

心 永 一 二 三

- 10 100 三中全會ノ經過ト支那ノ動向
東亞 91
- 三中全會ヲ基調トスル支那政局
鷺澤典四二 91
- 三中全會後ノ對日政策ノ檢討
東亞 99
- 三月節日風俗史攷 櫻井秀 133
- 三國干涉ノ史的回顧 古城胤秀 34
- 三國干涉ト支那ノ外力要求
矢野仁一 34
- 三國干涉ト支那ノ外國援助要求
矢野仁一 34
- 三國干涉後ノ露西亞ト滿洲一露
西亞ノ日本ノ遼東還附錄件干
涉カラ露清祕密條約マテ一
矢野仁一 34
- 三宅米吉先生小傳 齋藤斐章 61
- 三宅米吉博士著述年表
三宅博士古稀祝賀紀念論文集 61, 194
- 三宅米吉博士年譜
三宅博士古稀祝賀紀念論文集 61
- 三定論 高瀬武次郎 168
- 三皇五帝ニツイテ 飯島忠夫 53
- 三藩ノ由來ト大亂ノ動因ニ就イ
テ 田中懋德 30
- 三清代ノアジア一總説 和田清
30
- 三百五十年前ノ大亞細亞主義者
豐太閣ノ宏業ト豐公傳ノ刊行
栗田元次 59
- 三百年來ノ滿洲研究 中山久四郎
3
- 三百年前「一六三〇—一三九」ニ於
ケルポルトガル人對日貿易渡
航記 外山卯三郎譯 118
- 三年喪ノ服喪期間ニ就イテ
竹倉二郎 133
- 三河地方ノ狀況ニ就テ 下永憲次
72
- 三河地方ノ梗概 谷口豐祐 72
- 三祖禪禪師ニ就イテ 松本文三郎
162
- 三祖僧禪ト其ノ思想 増永靈鳳 162
- 三種悉地破地獄儀軌ノ研究
松永有見 150
- 三韓歸化人ノ武藏野開拓
水城寅雄 64
- 三教相互ニ關スル典籍ノ二三
小柳司氣太 173
- 三教指歸ニ於ケル宗祖ノ「心神
ノ疑」ニ就イテ 坂田光全 152
- 三輪身說ニ關スル知見
野見山思俞 151
- 三阿彌ニツイテ 仲田勝之助 181
- 三代世表攷 本城説治 53
- 18 300 子島曼荼羅ニ就イテ 吉岡龍瑛 149
- 18 810 乙丑軍閥變亂紀實 燕京學人 31
- 18 821 司中司命ニ就イテ 福田福一郎 16
- 司馬達等ノ事蹟 鷺尾順敬 160
- 司馬遷ノ生年ニ關スル一就説
桑原鷺藏 47
- 司馬江漢・ソノ啓蒙者トシテノ
斷面 今井毅積 57
- 20 000 ト辭中ノ曆法ヲ繞ル論爭
大島利一 5
- 20 300 千九百年ノ遼河 田口純 46
- 千字文解 和歌川潤 16
- 千秋節宴樂考 原田淑人 55, 175
- 20 500 手形法ニ所謂惡意ノ抗辯ニ就イ
テ 山尾時三 95
- 20 704 重メテ現存宋刊單疏本ニ就イテ
長澤規矩也 195
- 重孝列傳 天嶺和尚 49
- 重松教授將來ノ切韻及ビ玉篇ノ
寫眞ニツキテ 岡井慎吾 14
- 重修廣韻以前ノ廣韻 岡井慎吾 14
- 20 810 毛澤東ト朱德 富士辰馬 50
- 毛詩形態論 山口角麿 7
- 22 880 山ノ音樂・水ノ音樂 久禮傳三 176
- 山樂之壁畫 瀧精一 182

22 880 山東ニ關スル獨逸時代ノ權益

岸田英治 103

山東人ノ移住ト徐福ノ渡日ニ就

イテ 馬場春吉 56

山東問題ノ直接交渉ノ拒絶

吉野作造 35

山東省炭田ノ概要 伊澤公幸 120

山東省黃縣龍口附近貝塚ニ就イ

テ 駒井和愛 19

山東省濰縣地方ノ機業ニ就テ

濱正雄 120

山東省臨淄出土ノ瓦製戰車

原田淑人 23

山東旅行日記 塚本善隆 小川茂樹 68

山井鼎ト七經孟子考文補遺

狩野直喜 197

山西ヲ中心トセル金將宗翰ノ活

躍 外山軍治 28

山西票號ノ調査 衛聚賢 110

山西省ノ資源ト工業 生島廣治郎

120

山西省大同ヲ中心トセル佛教史

蹟 結城令聞 163

山西省經濟事情 大平正美 106

山西縱斷記 支那 68

山家鳥虫歌ト近世民謡ノ一面

高木市之助 86

山海經ノ錯簡 小川琢治 9

山海經篇目ノ考証補遺 小川琢治 9

山海經篇目考證 小川琢治 9

「山ノ神」信仰—機能的方法ニヨ

ル神觀念ノ研究— 杉浦健一 137

22 880 出廻リヲ中心トスル北滿地方特

産ニ就キテ 道岡太郎 121

出家式ノ本義トソノ成立

上田天瑞 152

出陣影ノ研究 谷信一 189

25 000 牛若傳説ノ展開ト佛說鶡掘摩經

安藤乾幽 155

牛頭法融ト其傳統 宇井伯壽 162

25 500 我方上代ニ於ケル日本佛教ノ

樹立 福岡高 147

我方古典教育ト所謂偽書ノ取扱

加藤玄智 142

我方國ニ於ケル女装ノ變遷

後藤守一 133

我方國ニ於ケル國際文化事業ノ

概要 歴史教育 4

我方國ニ於ケル占婆史研究ノ現

狀 杉本直治郎 57

我方國ノ家族制度 鷹松龍種 127

我方國人口過剩問題ノ對策

淺成時雄 128

我方國初期ノ條約改正ノ回顧

鹿島守之助 63

我方國政治ノ變遷ト儒教思想

宇田尙 166

我方産業ノ發展ト北支工作—綿

業、毛織ノ發展策— 津田信吾

123

我方先住民石器時代ニ就テノ

疑問 鳥居龍藏 17

我方原史時代ノ生活ト文化

鳥居龍藏 58

我方對支外交ノ基調 支那時報 100

我方邦上代ニ於ケル圖書館運動

—日本圖書源流考— 小野則秋

192

我方政治外交ノ指標 近衛文麿 100

我方駐支使臣ノ研究 吉岡文六 34

我國ニオケル研究自由鬭爭史ノ

一節 森戸辰男 76

我國ニ於ケル虞世南ノ書風ノ影

響 相澤春洋 187

我國ニ於ケル民衆文學ノ過去ト

將來 本間久雄 82

我國ニ於ケル滿洲近世史研究

ノ動向 百瀬弘 46

我國ニ於ケル佛經字音ノ起源ニ

就イテ 足立栗園 165

- 25 500 我國ニ殘存セル隸古定尙書
島田鈞一 6
- 我國ノ國分寺ト唐ノ龍興寺トノ
關係ニツイテ 佐佐久 63
- 我國ノ海外企業ニ就テ 高山三平
123
- 我國ノ移植民問題 矢内原忠雄 132
- 我國ノ律令ニ及ボシタル支那文
化ノ影響 市川本太郎 94
- 我國中古ノ文庫ト藏書家
白鷗漁史 192
- 我國上古ニ於ケル日華通交ニ就
イテ 水野梅曉 35
- 我國上古ノ美術ニ就テ 濱田青陵
178
- 我國人口發展ノ動向トソノ將來
社會政策ニ及バス影響
左右田武夫 128
- 我國近世ニ於ケル華夷論ノ概觀
三浦叶 62, 169
- 我國發現ノ獸脚ニ就イテ
內藤政恒 23
- 我國古來ノ政治の諸中心地ト其
ノ移動 飯本信之 58
- 我國幕末ニ於ケル儒教思想ノ一
面觀 羽倉信一郎 169
- 我國最近ノ圖書館學 島崎末平 192
- 我國民思想ト佛教 鷲尾順敬 146
- 我國鐵鋼需給關係ヨリ見タル滿
洲國鐵鋼界ノ趨勢 長谷好平 122
- 我對亞細亞貿易ノ發達
東洋經濟新報 118
- 我觀滿蒙宗教 林哲夫 144
- 我邦ニ於ケル四天王信仰
黑板勝美 165
- 我邦ノ著名ナル古硯ニ就テ
飯島茂 190
- 25 600 朱子ニ於ケル性說ニツイテ
岡阪猛雄 78
- 朱子ノ太極ニ就テ 鈴木直治 78
- 朱子ノ本體論 後藤俊瑞 78
- 朱子ノ史學特ニ其ノ資治通鑑綱
目ニツキテ 中山久四郎 51
- 朱子ノ學禪期ニツイテ 後藤俊瑞
78
- 朱子ノ孝經刊誤ニ就イテ
三井字一郎 8
- 朱子ノ居敬窮理ニ就イテ
鈴木直治 78
- 朱子ト論語 藤塚隣 8, 78
- 朱子實在論探求ノ一過程
後藤俊瑞 78
- 朱子學ニ於ケル識仁定性二篇ノ
地位 吉田賢抗 79
- 朱子學ノ由來 花岡安見 78
- 朱止泉ノ學 麓保孝 79
- 朱止泉ノ學補遺 麓保孝 79
- 朱晦菴理氣說ニツイテ 津田左右吉
78
- 25 700 生蕃人ノ種族關係ト移動
宇野圓空 130
- 生霸死霸考 王國維著 田中震二譯 55
- 生年ノ吉凶ニ關スル近代人ノ信
仰 櫻井秀 137
- 生活難ト女子ノ職業教育
大久保介壽 142
- 生活指導原理トシテノカトリッ
ク教ト大乘佛教 大谷尊由 149
- 生野ノ義舉 下田村三四吉 61
- 28 882 白人ノ植民地侵略史 早川二郎 104
- 白鳳彫刻試論 金森遼 186
- 白村語錄 廣川白村 84
- 29 600 水戸學ノ社會史の思想史の攷察
檉村壽一 125
- 水戸學ノ新史料ト新考察
中山久四郎 62
- 水戸學ト佛教 河野福夫 148
- 水戸學派ト明治維新 國井秀壽 60
- 水藩ニ於ケル廢佛毀釋
井野邊茂雄 148

29 600 水滸傳ノ異本ト其ノ國譯本
石崎又造 84
水滸傳ト支那戯曲 狩野直喜 85
水神社佛影鏡考 武藤一郎 22
水經注ニ引用セル法顯傳 森鹿三
159
30 000 十二天成立私攷 長谷川密雲 152
十九世紀ニ於ケル人口増加ニツ
イテ 今井登志喜 128
十九世紀末ノ露支紛爭 矢野仁一
34
十干十二支考 橋本増吉 89
十王信仰ニ關スル諸問題 及ビ閻
羅王受記經 酒井忠太 151
十八世紀ノ佛蘭西ニ於ケル支那
觀ト其國思想界ニ及ボセル支
那ノ影響 小林太市郎 76
十八世紀末ニ於ケル佛蘭西安南
ノ交渉—アドラン司教ノ事
蹟— 鈴木朝英 57
十八史略ノ讀法二三 上野賢知
26
十道志ニ引用セル水經ニツイテ
森鹿三 9
十月ノ滿洲經濟 滿鐵調査月報
107
十六世紀代ニ於ケル廣州附近ノ
海港ノ所在ニ就テ—屯門澳
南頭白窪ノ所在 内田直作
36, 73
十萬年前滿洲ニ住居レタ古代人
徳永重康 17
十年來ノ中國ノ經濟建設 方顯廷
106
十地經ノ序註ニ就テ 月輪賢隆
156
30 400 女人禁制結界廢止ノ始末
鷲尾順敬 148
女真人ノ發展ト金初ノ官制
三上次男 33

女眞種族ノ同源傳說 内藤虎次郎
44
女性史トシテノ婚姻史 中川善之助
127
30 600 木曾殿ト芭蕉 宮原信 87
木彫觀音像解 國華 186
木佛師系統考略 平子鐸嶺 160
30 600 來朝中ノ中國文人「時報」 竹内好
86
30 700 土器羣ヨリ見ル集式ニ二型アリ
松本彦七郎 24
土御門御匣殿—王朝時代歌人傳
杉崎重遠 86
土地ヘノ考察ノ一轉向 小田内通敏
66
30 700 土昏禮ニ見エタル用鴈ノ古俗ニ
就イテ 平岡武夫 7
30 810 七夕祭ノ起源の諸相ト展開ノア
ト 栗田峻 136
七言歌行發達ノ由來 鈴木虎雄 83
七宗論ニ就イデ 武内義雄 151
30 900 大乘院寺社雜事記ノ美術史料
谷信一 190
大乘阿毗達磨經ト攝大乘論
宇井伯壽 154
大乘佛教ノ原理及ビ教説
高須芳次郎 149
大山寺所藏ノ鐵龜銘ニツイテ
沼田頼輔 164
大正大藏經索隱刊行事業近況
ビタカ 153
大正大藏經索引刊行趣意並後援
會規定 ビタカ 153
大正四年日支交渉遺聞 松本忠雄
35
大正藏經索隱ノ編纂ニ就イテ
小野玄妙 153
大正藏經索隱編纂便り ビタカ 153
大日經ノ疏釋ト五十卷鈔
七寶山人 155

大

- 30 900 大日經ノ教主ニ就テ 金山穆韶 154
 大日經息障品ノ梗概 金山穆韶 154
 大日經疏ノ五大觀 田邊稔本 156
 大八洲生成ト古代航路 藤田元春 72
 大運河漕運ノ官制考 淺野好 31
 大連ニテ 木村莊八 72
 大連自由港制度ト密貿易 篠崎嘉郎 117
 大連圖書館所藏耕織圖ニ就イテ 大谷健夫 180
 大連港ニ於ケル大豆油ノ輸出貿易ト邦外商勢力ノ現状 池田和夫 118
 大連海關設置ニ關スル協定 國際法雜誌 114
 大島正健氏ノ字音開合ノ辯ヲ讀シテ 大矢透 13
 大鳥圭介ト袁世凱 辻武雄 48
 大秦ノ木難珠ト印度ノ如意珠 白鳥庫吉 164
 大秦寺ノ所在地ニ就イテ 佐伯好郎 47
 大同ト太原一圖說外國史 歴史教育 68
 大同女子技藝生徒ノ文藝 滿蒙 88
 大同大華嚴寺 關野貞 163
 大同城内外一雲岡紀行ノラチー 犬養健 68
 大田南畝 長島八郎 87
 大會經ニ於ケル密教思想 野見山愚翁 151
 大金國志ニ見ユル愛王ノ亂ニ就イテ 鳥山喜一 54
 大金得勝陀頌碑ノ研究 田村實造 25
 大宛國ノ貴山城ニ就イテ 桑原隲藏 47
 大安寺金堂本尊ニ就テ 足立康 181
 大安寺客殿障壁畫ニ就テ 田中喜作 183
 大窪詩佛 今關天彭 188
 大元一統志ノ零葉ニツイテ 日比野丈夫 52
 大元大一統志考證 金毓黻 52
 大元通制解說 安部健夫 33
 大衆小説ト作家ト作品トヲ辻斬ル 北郷之助 86
 大衆文藝ト新聞小説 菊池寛 85
 「大勢三轉攷」ニ於ケル史觀 千千和實 62
 大蒙古經濟紀行 布利秋 108
 大藏文庫古逸善本目錄 二楞生 193
 大藏經索隱ノ事「塵室偶語四」 二楞學人 153
 大華嚴ノ成立年代 近藤隆晃 150
 大悲胎藏三昧耶曼荼羅 小野玄妙 149
 大聖歡喜天考 三好愛吉 165
 大覺國師義天ト高麗佛教 高橋亨 148
 大覺寺五大明王像ト鎌倉彫刻 野間清六 186
 大愚宗築禪師ノ行狀 松倉全鼎 162
 大學ノ歴史 石原謙 141
 大學ノ致知格物ニツイテ 津田左右吉 168
 大學制度ノ小改正 山本良吉 141
 大黑天神考 三好愛吉 165
 大興安嶺東南部オロチヨン族踏查報告 泉靖一 130
 大興安嶺東北部オロチヨン族踏查報告 秋葉隆 139
 大興安嶺遠征記 水川求禮雄 69
 大興安嶺踏查ノ旅 秋葉隆 69
 大集經ト佉羅帝トノ關係 羽溪了諦 154
 大廟一熱河省西北部ノ先史遺跡一 赤堀英三 三上次男 18

- 30 900 大唐六典及通典ノ宋刊本ニ就
イテ 玉井是博 195
大唐韶州雙峯山曹溪寶林傳卷
第六 智矩 156
大原家藏雪舟筆山水圖ニ就イテ
熊谷宣夫 182
大屋徳城著「高麗續藏雕造攷」ヲ
讀シテ 江田俊雄 156
大名ノ研究〔江戸時代之社會〕
中村孝也 59
大滿洲帝國ノ創建ト世界列強ノ
輿論 支那時報 98
大清歷朝實錄開版事業 高橋 196
大河内焼ノ一優品 奥田誠一 189
大和繪十六羅漢像ニ就イテ
田中喜作 180
大師ノ判教ニ就テ 神林隆淨 161
大師ノ阿字觀 中井龍瑞 161
大師開宗當時ノ我が佛教界
天野觀明 147
大師傳ニツイテノ研究
松本文三郎 161
大形ノ縄文土器甕 上田三平 24
大雅ノ山水離合圖屏風ニ就テ
混沌生 182
大阪市地質概觀 山根新次 68
大阪美術俱樂部紀念雅會一帝室
博物館名作屏風畫展覽會 國華
181
大毗婆沙論ニ引用サレタル品類
足論ニ就テ 坂本幸男 151
「大昭慶寺志」解説 服部俊雄 157
大明令解説 内藤乾吉 33
大條銀及其取引 有本那造 115
大化ノ喪葬制ニ關スル一二ノ
考察 齊藤忠 133
大化改新ノ歴史の意義 内田繁隆 58
大佛次郎論 伊集院齊 87
30 900 太平天國ノ遣米使節 野原四郎 30.
太平天國亂ノ本質 鳥山喜一 30
太平天國瑣話 烏有 30
太平洋會議ト日本ノ人口問題
上田貞次郎 97
太平記ニ現ハレター揆ノ研究
岡部周三 62
太平亂南京最後ノ日 淺海正三 30
太平經ノ一考察 福井康順 156
太上感應篇 陽明學 171
太上感應篇ニ就テ 勝部直往 171
太古ニ於ケル韓土關係ノ傳說
松本重彦 63
太古ヨリ後漢末ニ至ルマテ
橋本増吉 27
太原大同ノ佛頭 木村莊八 163
太湖石宋朝ヲ亡ボス 松村雄藏 54
30 900 爽籟館欣賞第一輯 伊勢專一郎 194
33 811 世界ニ於ケル治外法權制度ノ發
達 關野唯一 95
世界ニ誇ル日本式庭園 田村剛 184
世界大戰前ノ日本朝鮮及滿洲ノ
金爲替本位制 松岡孝兒 115
世界史ニ於ケル蒙古ノ地位
白鳥庫吉 44
世界史ト佛教史 境野哲海 145
世界各國貨幣制度比較研究
日本經濟新誌 109
世界回教圈ト列強 内藤智秀 171
世界回教徒ノ動向 須田正繼 171
世界文化學ト日本文學 谷川徹三
81.
世界最古周代ノ活字版トシテノ
秦公敦 史潮 195
世界秩序ト支那事變 臘山政道 100
世界地圖ニ現レタ日本地圖ノ
變遷 外山卯三郎 71
世界經濟ノ動向ヨリ觀タル日滿
經濟提携ト特惠制度ニ就テ
國吉省三 108
世親造唯識三十論疏 寺本婉雄 150
世相ノ倫理の考察 深作安文 125

- 33 882 甘藷傳播史考 小野武夫 56
甘石星經考 能田忠亮 55
- 38 010 九世紀ニ於ケル蘇馬達島南ノ航
路ニ關スル研究 足立喜六 74
九世紀前日本人熱河ニ入ル
島田好 47
九國會議ト對日ポイユツト
長谷川了 100
九國條約ニ就テ 末廣重雄 100
九國條約ノ効力ノ限界「法律家
ノ立場ヨリ」清瀬一郎 100
九族ノ範圍及ビ宗法 諸橋轍次
126
九州ノニ銅鐸 中山平四郎 22
九州方言及琉球方言ニオケル代
名詞ノ研究 安田喜代門 11
九姓回鶻ノ問題ニ就イテ
橋本増吉 43
九條公爵家本隸古定尙書ニ就イ
テ 武内義雄 6
- 38 220 「内閣文庫史料」ニツイテ
竹林熊彦 192
内蒙古及黄河左岸北支一帯視察
記 西野政務調査局 69
内蒙古自治運動 大島豐 92
内蒙古自治運動ノ發展 田中忠夫
92
内蒙古牧畜視察行 菅野喜一郎 122
内蒙古獨立ノ前夜「紛糾セル自
治問題ノ解決」高木富五郎 93
内蒙新政權ノ樹立ト蒙古問題
後藤富男 93
内藤湖南ト梁啟超 澤村幸夫 48
内蒙憂外患ノ地新疆省 松本忠雄 102
内河航行權問題我觀 岸田英治 73
内鮮新興宗教ノ消長 村山智順 174
内地ニ於ケル高麗歸化族ノ分布
水城寅雄 64
内地ニ於ケル百濟歸化族ノ分布
水城寅雄 64
- 内地ケ於ケル新羅歸化族ノ分布
水城寅雄 64
内地ニ於ケル任那歸化族ノ分布
水城寅雄 64
- 40 000 X型衣服攷 宮本勢助 133
50 002 吏讀雜考 金澤莊三郎 12, 62
50 084 事變ト帝國海軍 野田清 101
事變ト支那ノ經濟力 岩井光次郎
110
事變前後ニ於ケル滿洲輸入貿易
ノ變遷ニツイテ 水下次郎 118
事變後ニオケル支那通貨ノ現狀
横山良一 112
事變後ノ中北支經濟ト朝鮮貿易
ノ將來 工藤三太郎 108
事變後ノ上海教育概況 日華學報・
141
事變後ノ日滿海運市況
滿鐵調査月報 118
事變後ノ北京文化界ノ現狀
神谷正男 2
事變後ソ聯ノ對日動向 直井武夫
101
- 50 090 本生話文學ニ就テ 高楠順次郎
164
本生經文學研究參考資料
小野玄妙 154
本島ニ於ル洋灰業ニ關スル調査
報告 佐藤武 123
本島ノ自動車交通(臺灣)
高湯盤 74
本草ニ就テ 中尾萬三 88
本居宣長翁ノ國語學ト悉曇
竹田鐵山 12
本年度樂浪土城發掘概況
高橋勇 20
本朝大佛師正統系圖并未流
美術研究 181
本朝皇朝國朝ノ稱呼ヲ辯ズ
内田周平 62

50 090 本格的亞細亞經濟ノ建設ト滿洲
藤岡啓 107
本邦ニ於ケル中小紡績業ノ重要
性ト滿洲市場及其ノ關稅率
岸川忠嘉 122
本邦山崩ノ研究 中村慶三郎 68
本邦火山噴物ニ於ケルテヂウム
ノ分佈 木村健二郎 68
本邦上代ニ於ケル武器ノ研究
末永雅雄 55, 63
本邦藏書印表補 鈴木清一郎 187
本邦舊傳古版ノ千字文 長澤規矩也
187
本邦供養思想ノ發達ニ及シタル
佛教ノ影響ヲ論ジテ柳田君ニ
質ス 加藤玄智 149
50 200 戊戌政變ノ一節 劍堂生 31
50 600 末生怨因緣圖相ト觀經變
松本榮一 152, 181
未開社會ニ於ケル集團ノ結合樣
式 杉浦健一 126
未開社會ニ於ケル時ノ觀念
移川子之藏 126
50 600 末法思想ト諸家ノ態度 高雄義堅
149
末法燈明記ノ眞偽 境野哲海 164
50 604 東三省ニ於ケル金融制度ノ改革
川島富丸 114
東大人類學教室近況 八幡一郎 140
東大寺法進ノ梵網經註釋ニ就テ
裕慈弘 155
東大寺鐘樓ニ就イテ 足立康 184
東大考古學研究室ノ近況
上三次男 18
東亞ノ古瓦ニ就イテ 梅原末治 23
東亞ノ舊石器時代 山口隆一 17
東亞及南洋ノ鑛物資源 貴志敏雄
68
東亞關係圖書目錄 東亞 194
東亞關係雜誌重要記事索引及圖

書目錄 東亞 194
東亞文化再建ヘノ基礎ノ究明
井村薰雄 1
東亞文化國際會議 藤澤親雄 1
東亞考古學 江上波夫 17
東亞考古學上ヨリ觀タ佛領イン
ド支那「安南」 小林知生 26
東亞考古學會蒙古調査班「蒙古
高原橫斷記」 三山次男 18
東亞外交史史料トシテノ舊奎章
閣所藏文書特ニ馬山浦事件ニ
ツイテ 三國谷雄 52
東亞外交面ニ映ズル日露ノ進展
後藤朝太郎 103
東西二林寺ノ研究 春日禮智 163
東西ノ美術ヲ論ジテ宋元ノ寫生
畫ニ及ブ 岸田劉生 179
東西文明ノ異同トソノ融合調和
長尾行介 1
東西文明ノ根本精神ト日本將來
ノ哲學 野村隈畔 76
東西文化ノ本質的絕對差異ヲ提
倡セヨ 二本謙三 1
東西文化基礎形態論 熊野正平 1
東西文化民族ノ地震ニ關スル神
話及ビ傳説 小川礒治 66
東西哲學ノ歸一 江木衷 74
東西美術之關係一實用ノ美術
日本及日本人 177
東西法理ノ比較 鶴澤聰明 75
東西洋トイフ稱呼ノ起源ニ就イ
テ 山本達耶 1
東西繪畫ノ相違及ビ現代油繪ノ
東洋化ト自分ノ仕事ニ就テ
椿貞雄 178
東西政治思想ノ比較 藤澤親雄 90
東西賭事往來 笠間果雄 139
東アルタイノバズイルクニ於ケ
ル積石塚ノ發掘 梅原末治 20
東丹王陵攷察記 金嶺駿 9